

森林病虫害等防除事業（拡充）

【平成21年度予算額 743,769（743,769）千円】

事業のポイント

環境に対する負荷の小さい防除対策として、マツノマダラカミキリの天敵微生物等を用いた伐倒駆除を積極的に推進します。また、高緯度・高標高地域等における松くい虫防除対策を実施します。
ナラ枯れ被害等の防止を図るため、防除対策を実施します。

（松くい虫やナラ枯れ被害の状況）

- ・ 全国の松くい虫被害量は、昭和54年度の243万 m^3 をピークに減少傾向で推移。
- ・ 平成19年度の被害量は62万 m^3 とピーク時の4分の1程度。
- ・ 一方、東北地方等では新たな地域で被害が発生。
- ・ 近年、カシノナガキクイムシが媒介するナラ菌によってナラ類等が枯損するナラ枯れ被害の発生地域が本州の日本海側を中心に拡大。
- ・ 平成19年度のナラ枯れ被害面積は全国19府県で1,228ha。

政策目標

保全すべき松林が適切に保全されていると認められる都府県の割合100%
（森林病虫害等の被害の防止）

< 内容 >

1．被害拡大地域対策（松くい虫防除事業）

従来被害がなかった地域で新たな被害が発生している高緯度・高標高地域等において松くい虫防除対策を実施します。

2．環境に配慮した松林保全対策

松林や周辺の環境に配慮した、環境に対する負荷の小さい防除対策を実施することとし、平成21年度より、天敵微生物等を用いた伐倒駆除を導入します。

3．政令指定病虫害等防除（他害虫）

せん孔虫類、食葉性害虫、たまばえ類、すぎはだに、のねずみ及びからまつ先枯病による被害のまん延を防止するため、的確な防除対策を実施します。

特に、ナラ枯れ被害の防止を図るため、カシノナガキクイムシに対する駆除措置や予防措置の実施を推進します。

< 補助率 >

1．1 / 2

2．1 / 2

3．1 / 2、1 / 3、3 / 8

< 事業実施主体 >

都道府県、市町村等

< 事業実施期間 >

平成21年度～23年度（3年間）

[担当課：林野庁研究・保全課]